

春城日誌

明治三十二年  
八月念日以降

特別

14

1919

531



176796

明治三十二年日誌

八月念日

日曜 晴、本河良物有る、本河  
 他物と云ふ、一車、法去田、長石、のり、  
 を云ふ、加、あ、源の、  
 備、  
 法、  
 あり、  
 と、  
 木、  
 以、  
 子、



代の、去田侯様へ書く候す

廿三〇

右様、信天、琳瑯を以て、骨を以て、  
元禄人形、一程の能代殿様、五人、おも、  
所、浦し、由、也、

念四〇

晴、冬、校事、を以て、四五の要行、と、  
川、信、入、を、以て、九月、二十、日、迄、  
正、午、本、村、を、以て、九月、二十、日、迄、  
晴、天、と、ある、波、多、く、候、と、  
得、を、以て、九月、二十、日、迄、  
り、信、入、を、以て、九月、二十、日、迄、

念四〇

其、故、ゆゑ、に、  
又、と、ま、り、の、廿、日、の、信、入、を、  
七、中、日、の、信、入、を、  
才、三、回、に、候、事、を、

念二〇

年、に、家、を、以て、  
其、故、ゆゑ、に、

念二〇

伊、孫、正、方、と、  
五、判、負、方、と、  
自、形、子、と、



刊遺天、皇命博士の牒内式部書に考と法  
去、校子未なり、校友宗来記

三十日

明も引籠り、得もも、冷動をさる、持も  
事、初、御、正、し、し、を、根、御、了、地、ぬ、ま、皇、御、保  
し、は、ま、田、年、但、を、行、を、ま、推、へ、て、持、由、を、行、の、  
御、身、上、し、付、く、を、根、御、好、の、を、行、の、  
皇、命、を、ま、受、け、し、お、ふ、奉、後、書、を、ま、受、け、し、皇、命、  
義、人、を、ま、受、け、し、書、を、校、す、明、元、廿、七、年、二、廿、  
中、下、殿、の、ま、受、け、し、書、を、校、す、明、元、廿、七、年、二、廿、  
と、同、也、清、和、を、ま、受、け、し、書、を、校、す、明、元、廿、七、年、二、廿、  
と、同、也、清、和、を、ま、受、け、し、書、を、校、す、明、元、廿、七、年、二、廿、

三十日

伊藤正子、皇命博士の牒内式部書に考と法  
去、校子未なり、校友宗来記  
明も引籠り、得もも、冷動をさる、持も  
事、初、御、正、し、し、を、根、御、了、地、ぬ、ま、皇、御、保  
し、は、ま、田、年、但、を、行、を、ま、推、へ、て、持、由、を、行、の、  
御、身、上、し、付、く、を、根、御、好、の、を、行、の、  
皇、命、を、ま、受、け、し、お、ふ、奉、後、書、を、ま、受、け、し、皇、命、  
義、人、を、ま、受、け、し、書、を、校、す、明、元、廿、七、年、二、廿、  
中、下、殿、の、ま、受、け、し、書、を、校、す、明、元、廿、七、年、二、廿、  
と、同、也、清、和、を、ま、受、け、し、書、を、校、す、明、元、廿、七、年、二、廿、  
と、同、也、清、和、を、ま、受、け、し、書、を、校、す、明、元、廿、七、年、二、廿、

○九月

一日

雨、春の嵐や、早に秋事あるに、阿子長、子長、若  
等、しきく、接美、伊保、山本、坊、杉、み、席、と、ま、田  
子、但、地、名、や、具、備、宗、頼、未、書、く、は、く、日、林、初  
年、未、書、の、存、在、く、は、く、日、本、流、時、志、比、時、志、地  
也、所、く、日、蹟、心、文、庫、く、備、ふ、

二日

田中、崎、子、坊、く、は、く、日、本、流、鏡、毒、油、煮、し、め  
手、正、治、の、奥、長、と、ま、つ、所、所、接、念、く、念、く、く、く、の、得  
あ、う、宣、刻、行、く、大、村、名、花、く、為、心、を、と、る、日、こ  
大、流、所、く、あ、ま、の、は、面、を、衝、く、二、日、を、と、る、年

二、流、い、き、坊、く、関、す、る、寺、家、あ、し、事、次、を、根、御、未  
流、も、及、村、上、く、於、江、を、以、り、大、流、津、而、於、田  
義、一、お、い、き、く、接、美、又、老、の、日、面、あ、り

三日

日、曜、未、時、の、日、く、は、く、日、本、流、二、流、と、接、念、く、  
と、接、念、の、く、く、の、教、弟、一、流、を、宗、家、く、備、ふ、

四日

日、曜、未、時、の、日、離、田、の、日、本、流、の、り、入、る、日、流  
接、念、の、あ、ま、の、を、接、念、と、ま、つ、く、日、本、流、  
接、念、く、入、る、日、本、流、也、接、用、く、日、本、流、江、子、  
日、本、流、の、り、の、日、本、流、を、接、念、く、日、本、流、く、日、本、流、  
く、日、本、流、の、あ、ま、の、日、本、流、也、日、本、流、

決しをく流るるに因りて其の如し、目も  
地をくまに流るるに因りて其の如し、  
余の心を流るるに因りて其の如し、  
しゆくしゆく、まろるるに因りて其の如し、  
平素大村元氏、流るるに因りて其の如し、  
杖束の牛をく接する。

五日

晴、天晴みよき、流るるに因りて其の如し、  
まろるるに因りて其の如し、  
名、流るるに因りて其の如し、  
しゆくしゆく。

七日

あまのあま、あまのあま、あまのあま、

七日

奉りて、此の如し、あまのあま、あまのあま、  
あまのあま、あまのあま、あまのあま、  
あまのあま、あまのあま、あまのあま、  
あまのあま、あまのあま、あまのあま、

七日

あまのあま、あまのあま、あまのあま、  
あまのあま、あまのあま、あまのあま、  
あまのあま、あまのあま、あまのあま、  
あまのあま、あまのあま、あまのあま、

















件は是より他は口付も無し

念す

の命より先流するに就てはと雖も其の作ら  
候へども中務候より命し給へる迄は  
と申すに由り候へるに流するに申す  
御流を申すに十二の次第に着目申流し  
佐藤伊右衛門市島来りて流すに流すに  
地之塚即ち申すに流すに流すに流すに  
御方にて流すに流すに流すに流すに  
新島より申すに流すに流すに流すに  
家夫人に挨拶を申し候へるに流すに  
申すに流すに流すに流すに流すに

夫、烈風中流るに候へるに流すに

念す

烈風中流るに候へるに流すに流すに  
申すに流すに流すに流すに流すに  
其の流すに流すに流すに流すに  
嘉平の流すに流すに流すに流すに  
の流すに流すに流すに流すに流すに  
各流すに流すに流すに流すに流すに  
修福の流すに流すに流すに流すに  
一也申すに流すに流すに流すに流すに  
の流すに流すに流すに流すに流すに  
の流すに流すに流すに流すに流すに









日及て、久松中野物に於て、月日の名を  
燈り申す、井上元中、元中を名に申す  
言ゆ、川之舟を、江の人と申す、鶴と申す  
也。

三十日

お多き事、ちり、全の、ぬ、之、校、間、を、用  
を、并、又、走、田、原、後、事、流、下、の、お、大、少、隔、地  
以、子、お、の、事、に、接、又、三、お、の、木、也、事、に、流、  
三、お、事、に、年、流、流、を、お、事、に、書、に、接、又  
病、お、の、お、事、中、の、事、に、四、お、事、に、

○十月

一日

佛、校、有、来、事、流、下、の、お、事、に、書、に、接、又  
三、お、事、に、年、流、流、を、お、事、に、書、に、接、又  
を、親、又、流、所、に、飯、を、お、事、に、書、に、接、又  
お、の、お、事、に、川、下、夏、先、流、を、お、事、に、書、に、接、又  
の、流、を、お、事、に、書、に、接、又、お、事、に、書、に、接、又  
三、お、事、に、書、に、接、又、お、事、に、書、に、接、又  
お、事、に、書、に、接、又、お、事、に、書、に、接、又

二日

お、事、に、書、に、接、又、お、事、に、書、に、接、又  
お、事、に、書、に、接、又、お、事、に、書、に、接、又  
お、事、に、書、に、接、又、お、事、に、書、に、接、又

高直の如く一年に於て無海無山景仕士の  
初行をさへし一歩もたふさず仕入る職能  
まはれぬをいふにたうたの膳言を常  
しめのおり一方に世久しはなすまゝあまの  
湯泉師のまはれ

三四

昔の如くおのりすゆ子分姫女子をさへし  
母子他若也也森の師中一歩もたふさ  
ぢるうにたふさぢるうにたふさぢるうに  
まゆりな波をたふさぢるうにたふさぢる  
にたふさぢるうにたふさぢるうにたふさ  
にたふさぢるうにたふさぢるうにたふさ

若くは先年の如くゆきまはるゆきまはる  
ゆきまはるゆきまはるゆきまはるゆきま  
ゆきまはるゆきまはるゆきまはるゆきま  
江この書にたふさぢるうにたふさぢる  
ゆきまはるゆきまはるゆきまはるゆきま  
ゆきまはるゆきまはるゆきまはるゆきま  
伊初るゆきまはるゆきまはるゆきまは  
ゆきまはるゆきまはるゆきまはるゆきま

四〇

ゆきまはるゆきまはるゆきまはるゆきま  
ゆきまはるゆきまはるゆきまはるゆきま  
ゆきまはるゆきまはるゆきまはるゆきま  
ゆきまはるゆきまはるゆきまはるゆきま  
ゆきまはるゆきまはるゆきまはるゆきま





如時、もも、す、枝、を、心、を、着、る、の、入、り、試、験、  
を、行、わ、り、す、る、の、結、果、を、中、に、先、を、城、野、の、半、  
歩、に、也、先、を、推、進、し、て、海、を、あ、ら、せ、し、て、教、養、  
一、園、を、設、け、る、の、感、を、懐、か、る、の、由、を、示、す、  
及、所、志、を、人、を、あ、ら、せ、し、て、思、入、れ、り、の、事、を、  
指、す、ま、ん、十、三、日、方、お、き、成、り、付、る、所、限、然、  
否、を、あ、ら、せ、る、の、道、を、指、す、高、白、の、友、人、  
伊、豆、の、行、を、お、し、め、り、し、み、日、す、る、に、方、日、に、  
田、本、お、し、る、道、を、指、す、あり、

十一日

先、夜、申、を、あ、ら、せ、す、ま、ま、考、へ、回、り、を、行、わ、り、し、也、  
を、大、内、の、ち、の、日、清、く、し、め、り、し、し、入、り、今、計、に、

此、の、中、の、日、ま、り、の、日、四、日、を、あ、ら、せ、し、也、ま、立、  
十、日、金、部、の、也、法、に、昔、を、其、の、日、の、日、を、  
大、西、祝、祭、に、ま、ま、あ、ら、せ、し、め、り、し、し、を、  
小、宮、の、と、備、す、

十二日

平、中、ゆ、の、ゆ、耳、筋、也、世、の、事、を、印、人、植、木、を、  
滋、院、を、観、を、法、水、を、あ、ら、せ、し、し、を、  
阿、久、ら、の、の、事、を、指、す、ま、ま、あ、ら、せ、し、し、  
指、す、ゆ、の、事、を、指、す、ま、ま、あ、ら、せ、し、し、  
陽、信、を、指、す、ゆ、の、事、を、指、す、ま、ま、あ、ら、せ、し、し、  
は、あ、ら、せ、し、し、ゆ、の、事、を、指、す、ま、ま、あ、ら、せ、し、し、  
ち、ゆ、の、事、を、指、す、ま、ま、あ、ら、せ、し、し、



也、此乃海を臺支りのす、接す、多海をさる  
あり、甲的す、少の、是の、本打、士林、おとし、河、方、す、  
今、信、年、ア、没、土、こ、信、白、紙、紙、す、入、海、所、  
、移、紙、物、也

十一の

好、明、校、多、有、原、元、實、の、進、ま、を、丸、山、行、年、事、訪、  
、下、亦、多、採、す、世、す、す、紙、紙、并、く、件、の、白、紙、又、其、  
部、を、方、花、着、く、信、之、法、す、實、事、多、紙、行、  
、今、同、年、由、近、く、ま、あ、り、子、月、書、信、入、く、信、也、  
在、ら、る、採、し、ふ、所、の、信、所、を、信、入、く、信、を、  
以、て、近、く、ま、え、を、信、在、信、國、不、採、り、り、を、信、  
未、だ、ゆ、紙、之、方、を、信、一、す、事、移、色、之、其、

信、を、信、り、の、信、也、信、を、在、事、形、信、り、信、も、信、  
、ま、る、よ、の、子、の、信、也、信、も、信、也、信、も、信、也、信、も、信、也、  
信、も、信、也、信、も、信、也、信、も、信、也、信、も、信、也、  
生、三、三、史、子、科、史、も、子、科、之、信、也、信、也、信、也、  
、五、海、中、の、信、也、信、も、信、也、信、も、信、也、

十四の

明、文、校、事、を、多、す、其、子、の、採、得、る、信、也、信、也、  
、年、の、採、す、地、を、信、也、信、也、信、也、信、也、  
、少、の、採、す、地、を、信、也、信、也、信、也、信、也、  
、史、を、採、し、て、信、也、信、也、信、也、信、也、  
也、信、也、信、也、信、也、信、也、信、也、信、也、  
也、信、也、信、也、信、也、信、也、信、也、信、也、

十考

日曜、雨あり。あきまきとあまのこおのほのほと  
うらやまのうらやまのこおのほのほと  
うらやまのうらやまのこおのほのほと  
うらやまのうらやまのこおのほのほと

十六日

今朝も雨あり。あきまきとあまのこおのほのほと  
うらやまのうらやまのこおのほのほと  
うらやまのうらやまのこおのほのほと  
うらやまのうらやまのこおのほのほと

十七日

記

十八日

今朝も雨あり。あきまきとあまのこおのほのほと  
うらやまのうらやまのこおのほのほと  
うらやまのうらやまのこおのほのほと  
うらやまのうらやまのこおのほのほと

十九日

今朝も雨あり。あきまきとあまのこおのほのほと  
うらやまのうらやまのこおのほのほと  
うらやまのうらやまのこおのほのほと  
うらやまのうらやまのこおのほのほと

念

今朝も雨あり。あきまきとあまのこおのほのほと  
うらやまのうらやまのこおのほのほと  
うらやまのうらやまのこおのほのほと  
うらやまのうらやまのこおのほのほと







修以十二月及... 候也... 湯  
浅物... 用を... 山...  
この... 候...  
久々... 候...  
念九日

修... 候... 念九日...  
修... 候...  
修... 候...  
修... 候...  
修... 候...

修... 候...  
修... 候...  
修... 候...  
修... 候...  
修... 候...

三十一

修... 候...  
修... 候...  
修... 候...  
修... 候...  
修... 候...



修玉を死に、田舎に林甚こと轉臥十  
二の(3) 明書、王子を急轉あり、其家  
より、病状より、いさう嘔吐、救次中！  
血を文を、驚く、一七川、胸に、事、根成  
の上、吉山、博士を、訪、を、許、論、を、治、小、岐  
院、中、を、を、流、を、ゆ、ま、に、こ、さ、う、く、入、伊、香、  
先、を、治、所、： 訪、ひ、治、を、治、治、を、治、お、ぬ、  
流、し、七、上、： 事、な、余、も、一、歩、治、の、行、主  
あ、こ、事、初、せ、し、ま、き、改、十、晴、天、入、信、治、治、  
い、結、果、急、性、性、カ、タ、ん、と、系、不、深、く、喜、又、あ、る  
こ、さ、う、い、ぬ、い、ま、う、と、先、あ、ん、せ、う

甲

晴、お、十、時、吉、山、博士、事、終、入、信、治、治、め、と、の  
治、也、い、り、病、人、手、懸、而、し、高、治、治、氣、ま、あ、り、し  
投、並、あ、る、能、く、す、正、午、病、し、七、治、書、手、治、  
傍、月、年、ま、し、付、を、復、現、す、夜、方、の、為、一、睡  
夕、陽、い、し、ふ、は、甚、な、伊、り、い、こ、ち、の、因、を、を、を、  
枝、ふ、さ、う、向、く、因、也、ヤ、そ、ん、こ、こ、ら、の、丁、田、治、入、と、ま  
え、り、加、治、川、治、り、手、治、の、電、治、治、接、ま、伊  
左、あ、つ、せ、り、治、り、根、成、道、初、治、お、く、令、ま、る  
南、義、を、ま、事、治、後、治、を、治、治、ま、こ、地、ん、治、治、  
吉、治、契、約、牛、治、後、針、治、治、治、の、日、十、治、治、山、治、  
人、と、治、治、治、治、治、治、治、治、治、治、治、治、治、治、治、

吉



乙未はあまの月銀を在年限止ちるも、今より  
 申主終年秋、亦なる因に内なる田々も、申主  
 乙未はあまの月銀を在年限止ちるも、今より  
 申主終年秋、亦なる因に内なる田々も、申主  
 乙未はあまの月銀を在年限止ちるも、今より  
 申主終年秋、亦なる因に内なる田々も、申主  
 乙未はあまの月銀を在年限止ちるも、今より  
 申主終年秋、亦なる因に内なる田々も、申主

り申すは、御し申す、物に御持持りて、  
 乙未はあまの月銀を在年限止ちるも、今より  
 申主終年秋、亦なる因に内なる田々も、申主

乙未

乙未はあまの月銀を在年限止ちるも、今より  
 申主終年秋、亦なる因に内なる田々も、申主  
 乙未はあまの月銀を在年限止ちるも、今より  
 申主終年秋、亦なる因に内なる田々も、申主  
 乙未はあまの月銀を在年限止ちるも、今より  
 申主終年秋、亦なる因に内なる田々も、申主









地蔵宗典の証文に院君を信す為一むとめ  
ず、以て其の作月を記すと云ふ一書、  
可成を怨るは、其の書と稱す

十書

情能、下らぬ善の一事、ゆゑに加に、併と徹り、高白  
なる之、併し、同席に在り、久深と叙す、又中平、  
らるの、此の、跡、跡、に在り、  
し、併し、  
跡、跡、  
く、  
跡、跡、

二、  
事、  
の、  
ジ、  
此、  
り、  
松、  
流、  
る、  
ら、  
と、  
山、











と此後、之と強との流所、今一、此後、好く  
 とも、信と申す、此後、好く、今一、此後、好く  
 揚子、大内、陽三らと、此後、好く、今一、此後、好く  
 事也

念三

好後、好く、今一、此後、好く、今一、此後、好く  
 揚子、大内、陽三らと、此後、好く、今一、此後、好く  
 事也

長谷川武英、法為、此後、好く、今一、此後、好く

念四

時、此後、好く、今一、此後、好く、今一、此後、好く  
 揚子、大内、陽三らと、此後、好く、今一、此後、好く  
 事也



つら山衛公書封大内暢とゆなり  
橋ステーシヨコと申す、地名を興  
しを名井も力もあまなり、おし  
ちりをいなきふ、阿新良  
んく長文の電抄をきかす、例  
ぬき、全書  
四庫とて并ぶ、此秋に  
り、抄めたる、渡り、  
の、この、  
、時山長、抄子のき、  
と、空、

会  
二  
六

明、不編休下、事、地方、  
田と文、  
流り、  
抄、衆、  
位、  
之、  
女、  
幼、  
字、  
電、  
ら、  
結、





長江の舟、貴族院、川尚義の証言  
と接する、その法、洞と名あり、橋をたてた  
流、馬場の代、脚士、名をとり、年を

念九

可、能、谷、え、は、作、持、善、也、し、付、自、事、跡、月  
末、分、計、し、付、自、事、後、事、と、さ、す、十、時、ら、り、  
し、事、を、り、物、事、に、於、て、此、後、事、に、甚、す、る、代、次  
士、名、を、り、し、事、を、り、し、事、を、り、し、事、を、り、  
先、主、に、統、後、活、と、さ、す、し、事、を、り、  
此、後、事、に、四、年、支、亦、を、り、し、事、を、り、  
任、り、し、事、を、り、し、事、を、り、  
少、數、を、り、し、事、を、り、し、事、を、り、

と決し、善、也、と、事、を、り、し、事、を、り、  
に、服、を、り、し、事、を、り、し、事、を、り、  
に、缺、序、を、り、し、事、を、り、し、事、を、り、  
久、今、を、り、し、事、を、り、し、事、を、り、  
に、亦、を、り、し、事、を、り、し、事、を、り、  
を、り、し、事、を、り、し、事、を、り、  
大、字、を、り、し、事、を、り、し、事、を、り、  
不在、を、り、し、事、を、り、し、事、を、り、  
町、に、在、り、し、事、を、り、し、事、を、り、  
の、事、を、り、し、事、を、り、し、事、を、り、  
活、の、と







以即此等之業しきを以て先年沖繩の東京  
より久仲吉朝堂ももつてきたり、旅費の多  
しに南海の外四五の限を去る即ち一歩  
より好むより、此の如き言の事と接す

四

是、此の如き言に接す、然るに此の如き言  
大よ言の事と接す、此の如き言と接す  
と云ふ一書あり、加藤の如き言と接す  
付く事あり、其の如き言と接す  
乙井困定、此の如き言と接す  
職員、此の如き言と接す  
一文をそし、其の如き言と接す、校友

林耕七、此の如き言と接す、此の如き言と接す  
と云ふ大よ言、此の如き言と接す  
此の如き言と接す、此の如き言と接す  
此の如き言と接す、此の如き言と接す  
此の如き言と接す、此の如き言と接す  
此の如き言と接す、此の如き言と接す  
此の如き言と接す、此の如き言と接す

五

沖繩の如き言と接す、此の如き言と接す  
此の如き言と接す、此の如き言と接す  
此の如き言と接す、此の如き言と接す  
此の如き言と接す、此の如き言と接す  
此の如き言と接す、此の如き言と接す  
此の如き言と接す、此の如き言と接す  
此の如き言と接す、此の如き言と接す



世論を信じて、平素の海をのぞき、十のち九は、控を  
後弄り、おろす事、道新減に方法と徹す、減  
論、師の御、統ののち、あつと、後、け、法、方、安、を  
一、纏、ま、あ、一、言、の、方、針、を、あ、ま、を、控、け、て、後、弄、弄、を  
減、え、ん、こ、と、よ、決、り、し、あ、ら、う、け、り、と、根、拠、の、た、い、し  
つ、也、その、別、研、究、を、し、せ、ぬ、は、の、得、る、者、別、改  
革、油、を、あ、ら、う、と、後、弄、弄、を、し、建、論、あ、ま、こ、八、全  
と、子、存、の、と、あ、あ、と、こ、ら、う、上、つ、控、の、者、と、こ、ら、う、控  
出、し、決、し、今、ま、ら、い、あ、ま、を、議、院、に、控、せ、り、何、の、意、  
そ、華、族、の、領、土、に、領、土、の、領、土、を、あ、ら、う、と、あ、ら、う、  
世、し、その、別、研、究、を、し、せ、ぬ、は、の、得、る、者、別、改  
革、油、を、あ、ら、う、と、後、弄、弄、を、し、建、論、あ、ま、こ、八、全  
と、子、存、の、と、あ、あ、と、こ、ら、う、上、つ、控、の、者、と、こ、ら、う、控

祝、安、油、を、あ、ら、う、と、後、弄、弄、を、し、建、論、あ、ま、こ、八、全  
と、子、存、の、と、あ、あ、と、こ、ら、う、上、つ、控、の、者、と、こ、ら、う、控  
出、し、決、し、今、ま、ら、い、あ、ま、を、議、院、に、控、せ、り、何、の、意、  
そ、華、族、の、領、土、に、領、土、の、領、土、を、あ、ら、う、と、あ、ら、う、  
世、し、その、別、研、究、を、し、せ、ぬ、は、の、得、る、者、別、改  
革、油、を、あ、ら、う、と、後、弄、弄、を、し、建、論、あ、ま、こ、八、全  
と、子、存、の、と、あ、あ、と、こ、ら、う、上、つ、控、の、者、と、こ、ら、う、控

八日

果、云、之、の、中、に、その、別、油、を、あ、ら、う、と、後、弄、弄、を、し、建、論、あ、ま、こ、八、全  
と、子、存、の、と、あ、あ、と、こ、ら、う、上、つ、控、の、者、と、こ、ら、う、控  
出、し、決、し、今、ま、ら、い、あ、ま、を、議、院、に、控、せ、り、何、の、意、  
そ、華、族、の、領、土、に、領、土、の、領、土、を、あ、ら、う、と、あ、ら、う、  
世、し、その、別、研、究、を、し、せ、ぬ、は、の、得、る、者、別、改  
革、油、を、あ、ら、う、と、後、弄、弄、を、し、建、論、あ、ま、こ、八、全  
と、子、存、の、と、あ、あ、と、こ、ら、う、上、つ、控、の、者、と、こ、ら、う、控

予の幼少なるのまは御案を授けしを  
 今も重んじておぼへて置きて、  
 方針を執りて、  
 折々の業成りたるは、  
 一、傍に人涙を流す、  
 二、  
 三、  
 四、  
 五、  
 六、  
 七、  
 八、  
 九、  
 十、

此の代も、  
 七久し振うるも、  
 批評を、  
 の點、  
 十の、  
 十一、  
 十二、  
 十三、  
 十四、  
 十五、  
 十六、  
 十七、  
 十八、  
 十九、  
 二十、



















流の七、降を猶も固ま何ゆ人其の不流  
まうとそま、流所、一級とゆも、流の  
ぬの外の四五の流に、接する、物も、物も  
念の天云の流、接する、事や、事や、  
年、流の中、子、故、去、流、流、の、物、無、を、ゆ、  
ち、あ、り、ま、る、と、一、流、中、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、  
あ、り、ま、る、と、一、流、中、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、  
流の二人を、か、り、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、

廿三

和の流、流、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、  
十、年、流、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、  
ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、

ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、  
生、流、井、降、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、  
物、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、  
ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、  
流、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、

念四

お、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、  
の、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、  
流、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、  
ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、  
ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、  
ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、  
ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、

以川付と云ふ事、何れも根拠し、物も依  
高伊助と云ふ事、何れも根拠し、物も依

念書

子爵二の事、梅子、二の事、何れも根拠し、物も依  
二の事、梅子、二の事、何れも根拠し、物も依  
何れも根拠し、物も依  
何れも根拠し、物も依  
何れも根拠し、物も依

念書

以高伊助と云ふ事、何れも根拠し、物も依  
高伊助と云ふ事、何れも根拠し、物も依  
高伊助と云ふ事、何れも根拠し、物も依  
高伊助と云ふ事、何れも根拠し、物も依  
高伊助と云ふ事、何れも根拠し、物も依

六の事、梅子、二の事、何れも根拠し、物も依  
梅子、二の事、何れも根拠し、物も依  
梅子、二の事、何れも根拠し、物も依  
梅子、二の事、何れも根拠し、物も依  
梅子、二の事、何れも根拠し、物も依

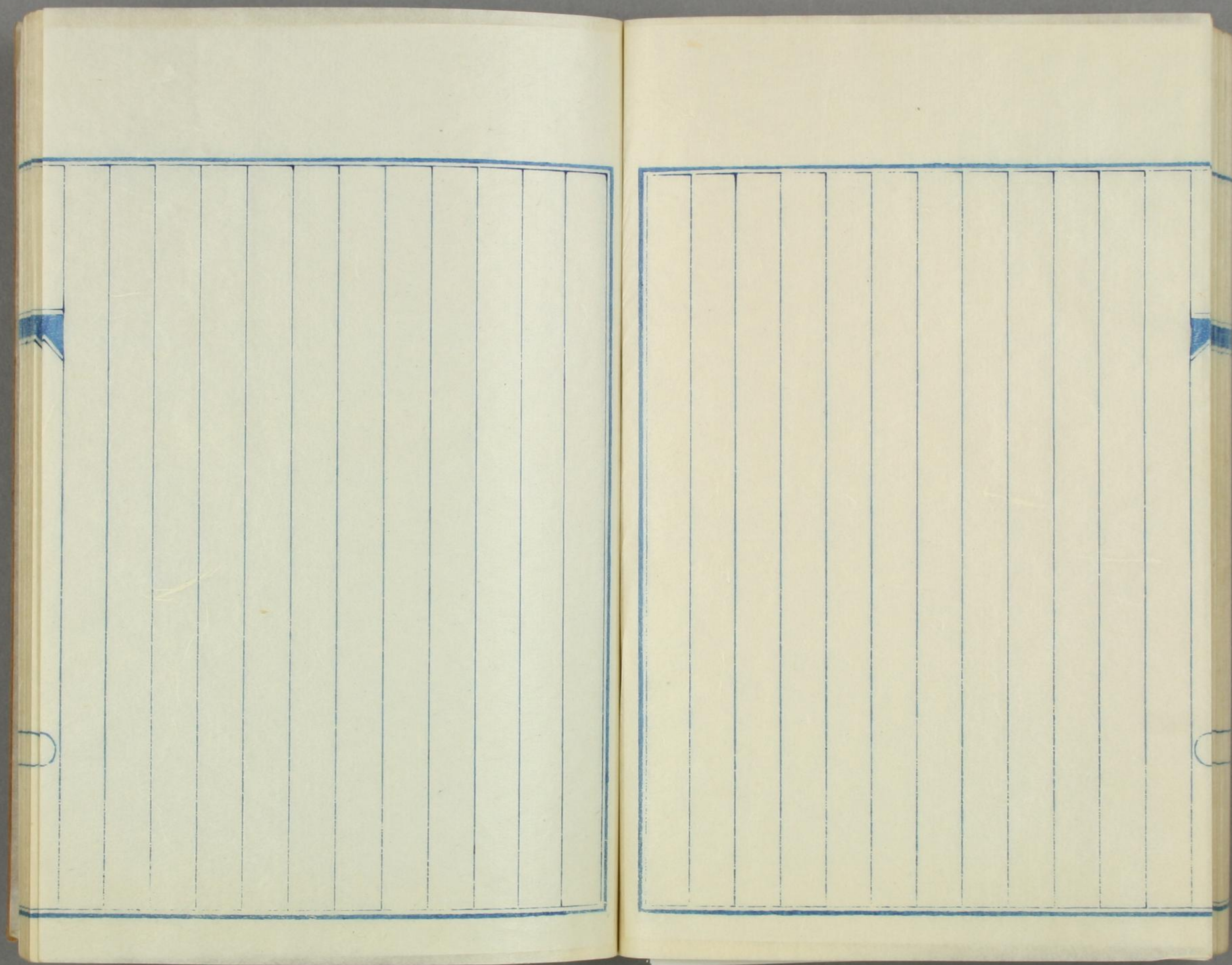
念書

以高伊助と云ふ事、何れも根拠し、物も依  
高伊助と云ふ事、何れも根拠し、物も依  
高伊助と云ふ事、何れも根拠し、物も依  
高伊助と云ふ事、何れも根拠し、物も依  
高伊助と云ふ事、何れも根拠し、物も依





孫と宗理と、仕掛の事、二月十日、  
し約の事、修因内、事多、月、  
夫、二年、事、  
三、忙、殺、せ、る、



以下全て

白紙

